

◎注意事項をよくお読み下さい



# りそな マーケットフラッシュマンスリー & アジア・新興国FXフラッシュ

(2022年8月号)

2022/7/29

りそなホールディングス 市場企画部  
りそな銀行 国際事業部

## ◆ 今月の相場見通し

※各マーケットコメントは7月29日（木）9:00現在  
※休日の実績は前営業日

|            |                                | 7月28日現在<br>(矢印は6月末比) | 8月の予想             |
|------------|--------------------------------|----------------------|-------------------|
| USD        | ドル・円 (円)                       | ↘ 134.27             | ↘ 129.00 ~ 137.00 |
|            | ジャクソンホール会合でFRBスタンスを見極めへ        |                      |                   |
| EUR        | ユーロ・ドル (ドル)                    | ↘ 1.020              | ↗ 1.00 ~ 1.10     |
|            | ユーロ・円 (円)                      | ↘ 136.90             | ↗ 132.00 ~ 142.00 |
|            | ECBのマイナス金利解除後の経済影響を見極め         |                      |                   |
| GBP        | ポンド・ドル (ドル)                    | ⇒ 1.218              | ↗ 1.15 ~ 1.25     |
|            | ポンド・円 (円)                      | ↘ 163.53             | ↗ 158.00 ~ 168.00 |
|            | USD高修正で上昇余地も政治的不透明感は重石         |                      |                   |
| AUD<br>NZD | 豪ドル・円 (円)                      | ↗ 93.83              | ↗ 92.00 ~ 97.00   |
|            | NZドル・円 (円)                     | ↘ 84.47              | ↗ 82.50 ~ 86.50   |
|            | 対円で上昇も海外経済減速鮮明化で徐々に上値重く        |                      |                   |
| 株式<br>相場   | 日経平均 (円)                       | ↗ 27,815             | ↘ 26,000 ~ 29,000 |
|            | 景気減速、円安一服など、トレンド変化に注意          |                      |                   |
|            | NYダウ (ドル)                      | ↗ 32,530             | ↘ 28,000 ~ 33,000 |
| 長期<br>金利   | 米景気減速の蓋然性とFRBスタンス変化を見極めへ       |                      |                   |
|            | 日本 (%)                         | ↘ 0.205              | ⇒ 0.15 ~ 0.25     |
|            | 日銀の政策変更を見込んだ取引は後退へ             |                      |                   |
|            | 米国 (%)                         | ↘ 2.676              | ↘ 2.60 ~ 3.10     |
|            | 景気減速懸念が一段と進行するなか、ジャクソンホール会合に注目 |                      |                   |

## ◆ 今月の注目ポイント

### 欧州政治・経済リスクに注意

| テーマ  | 注目度 | 今月の注目ポイント                                                                                                                                                                                                                   |
|------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 景気動向 | ○   | 【景気下振れの深度】米国の4-6月期GDPは2四半期連続のマイナスでテクニカル的にはリセッションが意識される。市場は景気後退リスクを見る中、景気下振れの深度や時期の思惑で相場が動く展開となろう。                                                                                                                           |
| 金融政策 | ○   | 【ジャクソンホール会合】8/25-27に年次の金融政策シンポジウムであるジャクソンホール会合が開催され、パウエルFRB議長講演で9月以降の金融政策運営に向けた示唆が得られるか注目。                                                                                                                                  |
| 政治   | ◎   | 【欧州リスク】欧州政治・経済にリスクが燃える。ロシアからの欧州向けガスパイプライン「ノルドストリーム」の供給をめぐる欧露間で駆け引きが続く。供給遮断に至った場合には欧州の景気後退リスクが高まる。また、イタリアでは政局混乱によりドラギ首相が退任し9月に総選挙実施予定で動向が注目される。<br><br>【中国政治】毎年8月頃行われる非公式会議の「北戴河会議」が実施され、秋の共産党大会に向けた人事やコロナ対応、経済政策への影響が注目される。 |

## ◆ アジア通貨見通し

|       |                 |       |                 |
|-------|-----------------|-------|-----------------|
| 人民元・円 | ↘ 19.50 ~ 20.50 | ルピー・円 | ↘ 1.66 ~ 1.72   |
| バーツ・円 | ↘ 3.45 ~ 3.80   | ウォン・円 | ↘ 10.00 ~ 10.50 |
| ルピア・円 | ↘ 0.880 ~ 0.920 |       |                 |

## ◆ 今月の重要日程

|           |                 |           |                         |
|-----------|-----------------|-----------|-------------------------|
| 1日 (月) 米  | 7月ISM製造業        | 17日 (水) 米 | 7月小売売上高                 |
| 2日 (火) 豪  | RBA理事会          | 17日 (水) 米 | FOMC議事録 (7/26,27)       |
| 4日 (木) 英  | BOE金融政策委員会      | 19日 (金) 日 | 7月CPI                   |
| 5日 (金) 米  | 7月雇用統計          | 23日 (火) 欧 | 8月PMI                   |
| 10日 (水) 米 | 7月CPI           | 25日 (木) 米 | ジャクソンホール経済シンポジウム (～27日) |
| 15日 (月) 日 | 22/2QGDP <1次速報> | 31日 (水) 中 | 8月PMI                   |

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

◎注意事項をよくお読み下さい

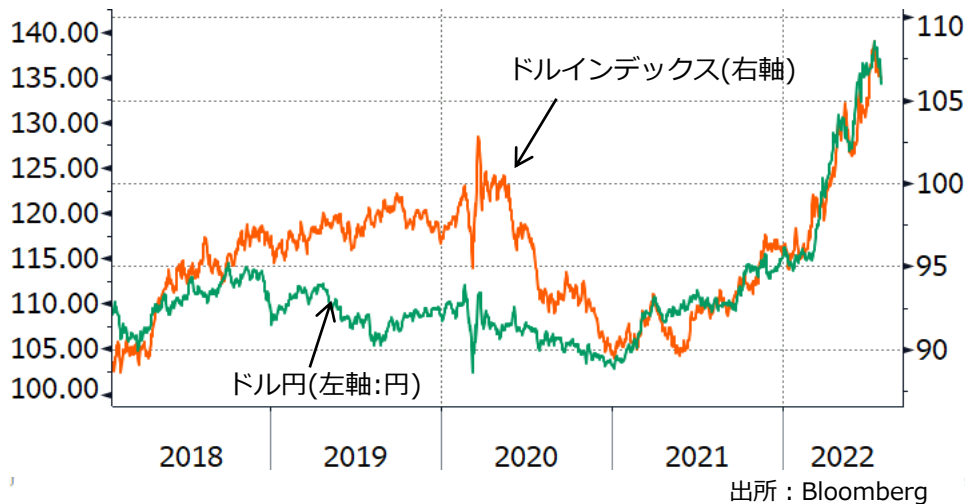


# りそな マーケットフラッシュマンスリー & アジア・新興国FXフラッシュ

(2022年8月号)

## ◆ 今月の相場見通し① 為替 (ドル・ユーロ)

### ドル 円



米ドル円



ドル円は下落

129.00 – 137.00円

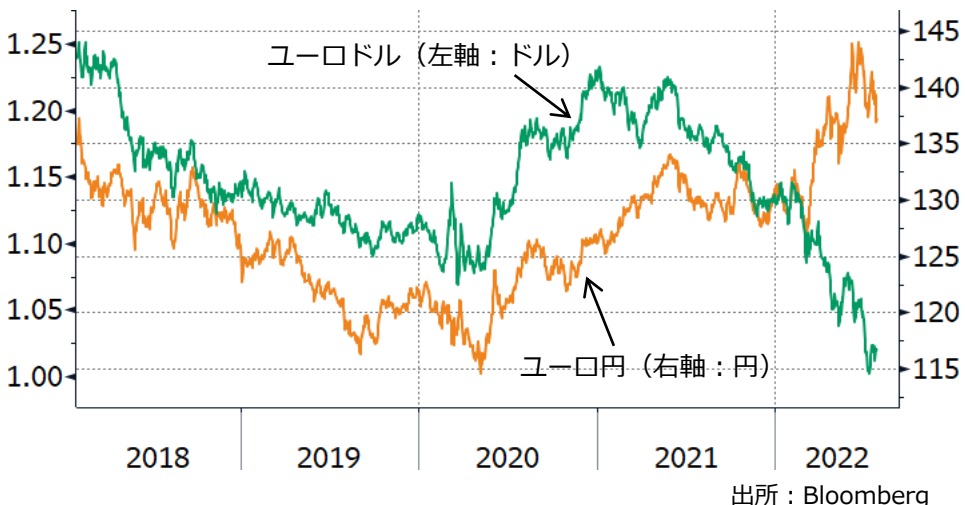
#### ジャクソンホール会合でFRBスタンスを見極めへ

7月のドル円相場は139円台半ばまで上昇する場面があり、直近高値を一時更新した。米国の消費者物価指数が前月に引き続き市場予想を上回り、FRBによる更なる利上げ加速が意識された。一方その後、FRB高官による100bp利上げに否定的な発言が伝わったことや、米景気減速が意識されるなかで米長期金利が低下に転じ、原油価格も100ドル前後まで下落するなか、ドル円相場の上昇も足元では一服しつつある。

8月は引き続き米景況感指数や物価指数の動向を見極めつつ、月末のジャクソンホール会合にてFRBスタンスに変化の兆しが生じるかが焦点となる。年内での利上げ停止と来年の利下げが市場では意識されつつあり、9月FOMCに向けてドル円相場にトレンド変化が生じる可能性がある。8月は円高になりやすい季節性があり、下落に転じた場合は値幅が膨らむこともあり得る。

一方、足元で国内の感染者が急増している点は注意を要する。他国と比較して増加ペースが顕著であり、国内景気への下押し圧力となる可能性がある。感染動向は一部日銀政策と紐づいている部分もあり、ドル相場とも一定の連動性が見られる。現状、行動制限等は見込まれていないが、新たな変異株や別種の感染症も生じており、感染動向には注意が必要であろう。

### ユ ー ロ



ユーロドル



ユーロドルは上昇

1.00– 1.10ドル

ユーロ円



ユーロ円は上昇

132.00 – 142.00円

#### ECBのマイナス金利解除後の経済影響を見極め

7月のEUR相場は対USD、対JPYともに軟調に推移した。インフレの高止まりによる景気減速が意識されたほか、ロシアからの天然ガス供給不安もEUR相場の重石となった。

ECBは7月の理事会にて50bpの利上げを実施し、マイナス金利から脱却した。利上げは2011年以来11年振り、50bp幅の利上げは2000年以来22年振りとなる。理事会前に一部報道にて50bp利上げ観測が高まると一時EURが買われる局面もあったが、利上げと同日に公表されたTPI（周辺国金利の急上昇等、市場の分断化へ対応するための債券買い入れツール）に条件が設定された点等が嫌気され、ラガルド総裁の会見中にEURは下落に転じた。ユーロ圏のファンダメンタルズは米国と比較して脆弱な面があり、利上げ後の経済影響の見極めが必要となる。

一方、対USDでパリティ（等価）割れの水準では反発しており、EUR/USDが1.00割れて下落していく余地も乏しいだろう。欧州経済への過度な悲観が後退すれば上昇に転じよう。

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

◎注意事項をよくお読み下さい

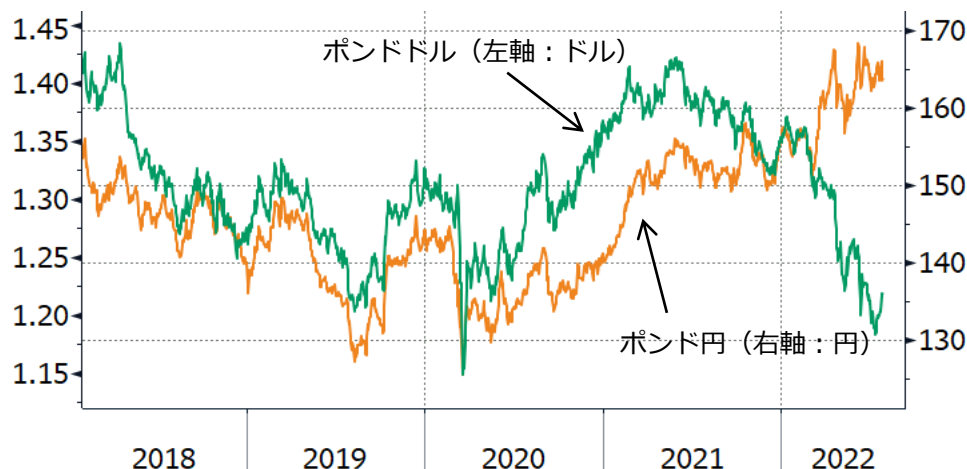


# りそな マーケットフラッシュマンスリー & アジア・新興国FXフラッシュ

(2022年8月号)

## ◆ 今月の相場見通し② 為替 (ポンド・豪ドル・NZドル)

### ポ ン ド



出所：Bloomberg

ポンドドル

ポンドドルは上昇

1.15- 1.25ドル

ポンド円

ポンド円は上昇

158.00 - 168.00円

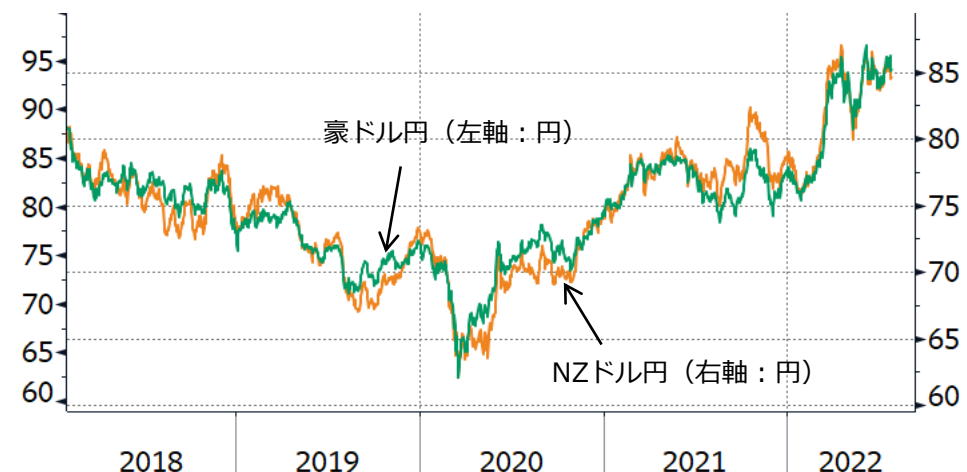
### USD高修正で上昇余地も政治的不透明感は重石

7月のGBP相場は月前半は軟調に推移した後、月後半は持ち直して反転上昇基調となった。米国の消費者物価指数の上振れを受けたUSD高の影響によりGBP相場にも下落圧力がかかったが、米景気減速懸念の高まりによる米長期金利低下とUSD高の一服や、ECBの利上げやエネルギー供給不安の燃るユーロ圏経済への不透明感からEUR安となったことにより、相対的にGBPに上昇圧力がかかった。

米国と英国では物価上昇率は同水準であるものの、中銀の利上げスタンスに大きな乖離があり、政策金利は1%以上の較差が生じている。7月に更新されたIMFの経済見通しでは米国の成長見通しが大きく下方修正される一方、英国の引き下げ幅は小幅に留まった。英国流の緩やかな引き締めでソフトランディングが実現できれば、割安化したGBPには買い戻し圧力がかかるだろう。

ジョンソン首相の辞任により政治的不透明感が高まっている点は懸念材料であり、保守党党首選の行方や次期首相候補の政策には注意を払いたい。

### 豪 ド ル ・ N Z ド ル



出所：Bloomberg

豪ドル円

豪ドル円は上昇

92.00 - 97.00円

NZドル円

NZドル円は上昇

82.50 - 86.50円

### オセアニア通貨は対円で上昇も海外経済減速鮮明化で徐々に上値重く

7月の豪ドル、NZドルは対円で買いが優勢となった。豪中銀は月初の会合でインフレ抑制優勢を示した後、ロウ総裁は7月下旬にさらなる利上げを示唆した。良好な貿易収支の状況や雇用統計結果も豪ドルを支えた。NZ中銀も利上げ継続が適切との見解を表明し、NZドルの追い風となった。一方、日銀は金融政策の現状維持を決め、黒田総裁も金利を引き上げるつもりはないと緩和姿勢を強調。政策スタンスの違いが豪ドル円、NZドル円の上昇を引き続きけん引した。

8月の豪ドル、NZドルは対円では上昇も幅は限定的になると予想。8月に開催される豪中銀、NZ中銀会合では利上げを継続するとみられ、対円での金利差の優位性が維持される。ただし、海外経済が減速する中でコモディティ価格が軟化すると、豪ドルとNZドルを支える効果は減衰する。また、豪州の4-6月期CPIが予想より下振れしたことを踏まえ、8月の豪中銀会合で0.75%の利上げ期待が後退していることも豪ドルの売りを誘う可能性がある。

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。



◎注意事項をよくお読み下さい

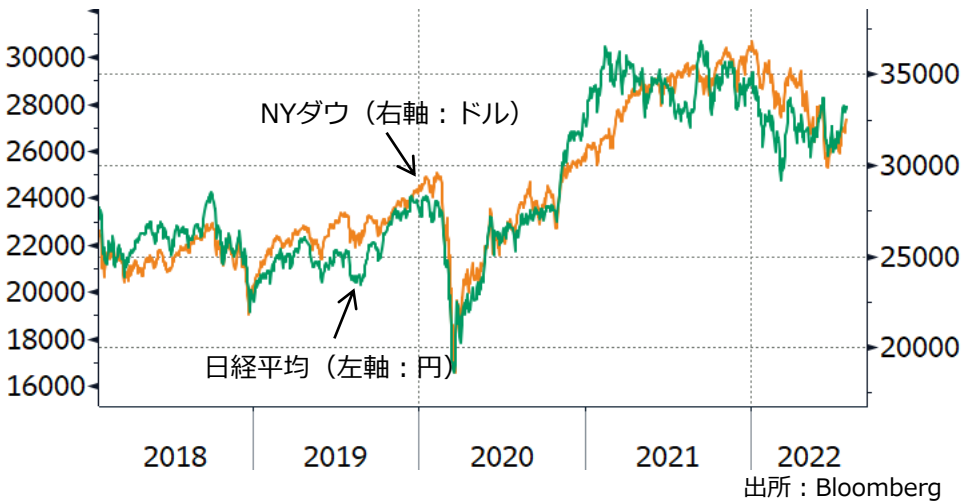


# りそな マーケットフラッシュマンスリー & アジア・新興国FXフラッシュ

(2022年8月号)

## ◆ 今月の相場見通し③ 株式、長期金利

### 株 式 見 通 し



日経平均



日経平均は下落

26,000 - 29,000円

#### 景気減速、円安一服など、トレンド変化に注意

引き続き為替が円安水準で推移するなか、参院選の無難通過、中国の経済活動再開、国内外の企業決算等が好感され、7月の日本株は底堅く推移した。一方足元では特に日本国内での感染者が急増しており、国内景気に下押しリスクが高まっている。今後はグローバルに景気減速に向かっている可能性が高く、景気敏感銘柄の比率が高い国内株価指数に特に影響が出やすい。円安基調も変化の兆しがあり徐々に上値が重くなる展開を見込む。

NYダウ



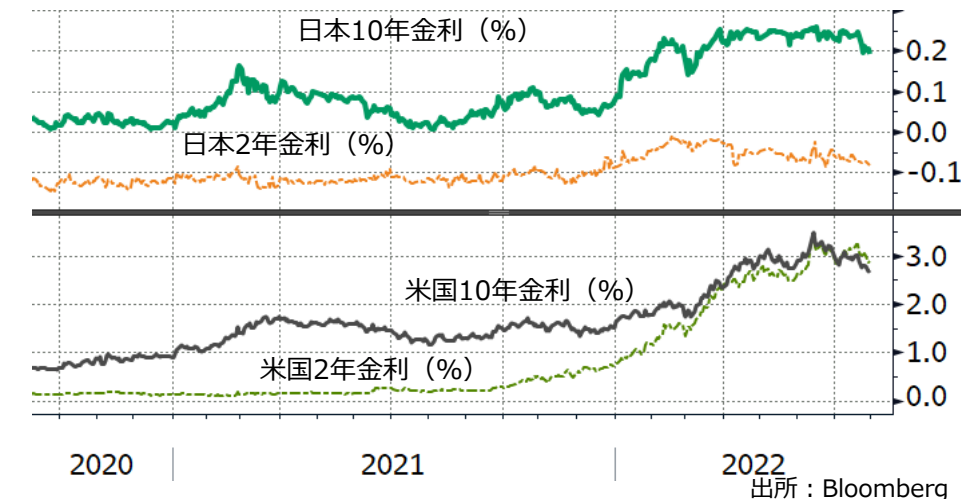
ダウは下落

28,000 - 33,000ドル

#### 米景気減速の蓋然性とFRBスタンス変化を見極めへ

米企業決算は全体としては警戒されたよりも堅調な結果あったことから業績不安は一定程度後退。米景気減速懸念が高まるなかでFRBの利上げ織り込みが後退しつつあることも米株価の下支えとなっている。一方、今後米景気が減速に向かうこと自体は変わりがなく、上値余地は限定的。景気減速がどの程度深刻となるか、FRBのスタンスに変化が生じるか、という点について見極めが必要であり、当面は神経質な展開を予想する。

### 長 期 金 利 見 通 し



日本国債10年



金利は横ばい

0.15 - 0.25%

#### 日銀の政策変更を見込んだ取引は後退へ

7月の日銀会合にて黒田総裁が利上げの可能性について改めて強く否定したことにより、日銀の政策変更観測は後退。世界的な景気減速懸念と金利低下に国内金利にも低下圧力がかったこともあり、海外投資家を中心とした日本国債売りの取引も一部は買い戻されたものとみられる。引き続き黒田総裁在任中に日銀が政策変更を行う可能性は引低く、国内金利はレンジ推移に回帰するであろう。

米国債10年



金利は低下

2.60 - 3.10%

#### 景気減速懸念が一段と進行するなか、ジャクソンホール会合に注目

7月の米CPIは前月に続き市場予想を上回る強い結果であったが、インフレの高止まりとFRBの利上げによる景気減速が意識され長期金利は低下した。市場では来年以降の利上げが意識され始めており、長短金利の逆イールド化が加速した。8月のジャクソンホール会合にて9月以降の政策スタンスが示唆される可能性があり、注目したい。現状以上に引き締めペースが加速する可能性は低く、長期金利は上昇しにくいだろう。

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

◎注意事項をよくお読み下さい



# りそな マーケットフラッシュマンスリー & アジア・新興国FXフラッシュ (2022年8月号)

## ◆ 今月の相場見通し④ 新興国通貨 (アジア)

|        |          | 7/28   |   | 7月の相場推移       |   | 8月の予想         | 解説                                                                                                                                                                                      |
|--------|----------|--------|---|---------------|---|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 中国     | 人民元/円    | 19.91  | ➡ | 19.89~20.63   | ➡ | 19.50~20.50   | 再度のロックダウンや一部マンションの住宅ローン返済拒否運動が懸念され、7月の人民元は軟調でドル人民元は上昇。8月はドル人民元は反落（元高）とみる。懸念材料となっていたコロナ感染は大規模、高頻度検査でコントロールされており、住宅ローン問題も当局が早急に対応し懸念は緩和されている。また、米国の利上げ加速観測後退によるドル高一服もドル人民元を押し下げただろう。      |
|        | ドル/人民元   | 6.745  | ➡ | 6.68~6.79     | ➡ | 6.65~6.80     |                                                                                                                                                                                         |
| タイ     | バーツ/円    | 3.684  | ➡ | 3.674~3.847   | ➡ | 3.45~3.80     | ドルバーツ相場は7月後半にかけて36バーツ台後半とバーツ安相場が続いた。最大の要因は米国の金融引締、グローバル景気懸念によるドル高であるがタイバーツは他国通貨と比べても弱い動きとなっている。タイ中銀は高インフレ対応で8月会合で利上げ実施する見込みでまた為替相場への注視も示すが、ファンダメンタルズによるバーツ安地合いは根強く、8月もドルバーツは底堅いと予想する。   |
|        | ドル/バーツ   | 36.81  | ➡ | 35.34~36.95   | ➡ | 36.0~38.5     |                                                                                                                                                                                         |
| インドネシア | 100ルピア/円 | 0.900  | ➡ | 0.899~0.928   | ➡ | 0.880~0.920   | 7月は海外景気不安によるドル買いが進行し、ドルルピアは上昇（ルピア安）した。今月のドルルピアは反落するとみる。7/21のインドネシア中会合では政策金利の据え置きが決定されたが、ワルジョ総裁は短期債金利の引き上げを通じたルピア安定策強化を表明した。このような姿勢から利上げ期待が徐々に強まり、ルピアを支えるだろう。資源高による堅調な貿易収支黒字も引き続き好材料となる。 |
|        | ドル/ルピア   | 14,933 | ➡ | 14,933~15,038 | ➡ | 14,700~15,000 |                                                                                                                                                                                         |
| インド    | ルピー/円    | 1.688  | ➡ | 1.685~1.745   | ➡ | 1.66~1.72     | エネルギー高による貿易赤字の拡大やインド株売りによる資金流出を受け、7月もルピー安が継続した。インド中銀はルピー防衛策を実施しているが効果は限定的にとどまる。海外の財需要一服による輸出鈍化や資源価格高止まりから貿易赤字はさらに拡大する可能性がある中で、ルピーの軟調地合いは8月も続くとみる。                                       |
|        | ドル/ルピー   | 79.76  | ➡ | 78.87~80.06   | ➡ | 79.40~80.40   |                                                                                                                                                                                         |
| 韓国     | 100ウォン/円 | 10.330 | ➡ | 10.32~10.62   | ➡ | 10.00~10.50   | ドルウォン相場は7月中旬に約13年ぶりの安値水準をつけたが、その後ドル高一服とともに買い戻しも入り往って来いとなった。高インフレ・ウォン安を受け韓国中銀は7月会合で0.50%の大幅利上げを実施したものの、根本的なウォン安地合いの転換は難しい。再びコロナ感染者数も増加する中で、物価高・金融引締の悪影響もあり景気先行き懸念は燦り、8月のウォン相場はじり安を予想する。  |
|        | ドル/ウォン   | 1,300  | ➡ | 1,287~1,327   | ➡ | 1,280~1,340   |                                                                                                                                                                                         |

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

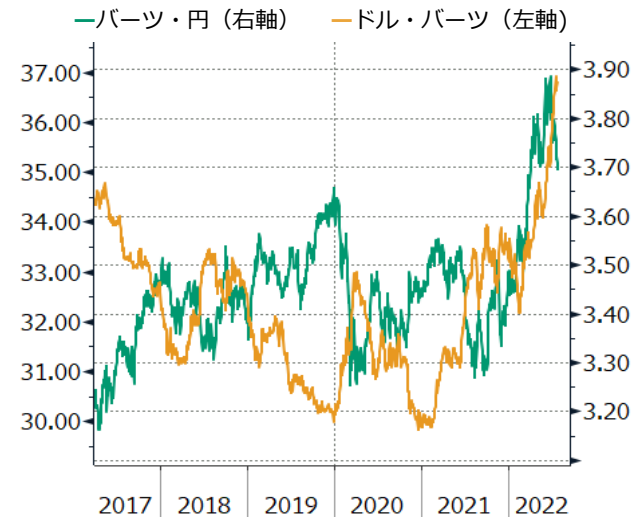
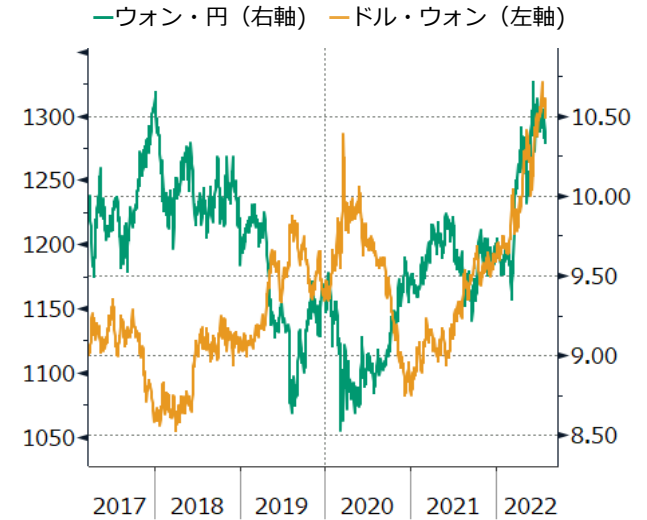
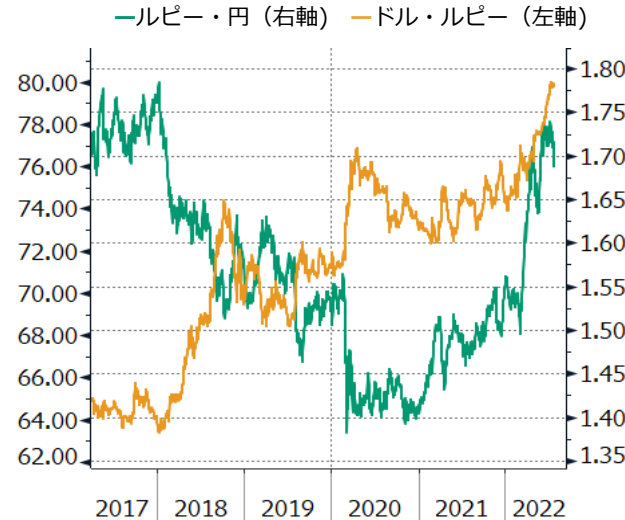
© 注意事項をよくお読み下さい



# りそな マーケットフラッシュマンスリー & アジア・新興国FXフラッシュ

(2022年8月号)

## ◆ 新興国通貨チャート



### © 注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

◎ 注意事項をよくお読み下さい



# りそな マーケットフラッシュマンスリー & アジア・新興国FXフラッシュ

(2022年8月号)

## ◆ 年間為替見通し

|        |     | 2022年      |           | 2023年     |           | ポイント                                                                                               |
|--------|-----|------------|-----------|-----------|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
|        |     | 8～9月       | 10～12月    | 1～3月      | 4～6月      |                                                                                                    |
| ドル円    | レンジ | 122～142    | 115～135   | 110～130   | 110～125   | FRBの利上げペース減速を受け、年後半以降は景気減速と中間選挙の不透明感が上値抑える                                                         |
|        | 期末値 | 132        | 130       | 125       | 120       |                                                                                                    |
| ユーロドル  | レンジ | 0.95～1.15  | 1.00～1.20 | 1.00～1.20 | 0.95～1.15 | ECBがプラス金利へ向けた利上げを進めるなか利上げペース減速が見込まれるFRBとの金融政策較差によりEURに上昇余地。一方、来年以降は米国とともに景気減速が鮮明となり上値を抑えられる        |
|        | 期末値 | 1.07       | 1.12      | 1.10      | 1.08      |                                                                                                    |
| ユーロ円   | レンジ | 125～155    | 130～160   | 125～145   | 120～140   | BOEが利上げを進めるなか、FRBの利上げペース減速によるUSD独歩高の修正からGBPは上昇。ただし先進国でも最高水準にある英国の物価上昇率を抑制できるか成功できるかが年明け以降の懸念材料。    |
|        | 期末値 | 141        | 146       | 138       | 130       |                                                                                                    |
| ポンドドル  | レンジ | 1.15～1.25  | 1.15～1.30 | 1.15～1.30 | 1.15～1.25 | 中国の貿易黒字鈍化や海外景気懸念によるドル買いから当面はドル人民元上昇も、中国の景気支援策は人民元の下支えで上昇ペースは緩やか。来年は中国経済の本格的な回復やドル高一服でドル人民元は下落に転じる。 |
|        | 期末値 | 1.22       | 1.26      | 1.22      | 1.21      |                                                                                                    |
| ポンド円   | レンジ | 140～170    | 145～175   | 140～165   | 130～155   | 豪州中銀の追加利上げが意識され、日銀との金融政策格差で上昇も年後半は徐々にピークアウト                                                        |
|        | 期末値 | 161        | 164       | 153       | 145       |                                                                                                    |
| ドル人民元  | レンジ | 6.60～6.90  | 6.70～7.00 | 6.60～6.90 | 6.50～6.80 | グローバル景気減速局面で年内バートは弱含みとみる一方、円安修正によりバート円は下落基調を予想                                                     |
|        | 期末値 | 6.75       | 6.85      | 6.75      | 6.65      |                                                                                                    |
| 人民元円   | レンジ | 18.5～21.5  | 17.0～20.0 | 16.5～19.5 | 16.0～19.0 |                                                                                                    |
|        | 期末値 | 19.5       | 19.0      | 18.5      | 18.0      |                                                                                                    |
| 豪ドル円   | レンジ | 88.0～100.0 | 86.0～98.0 | 83.0～95.0 | 80.0～92.0 |                                                                                                    |
|        | 期末値 | 96.0       | 90.0      | 84.0      | 82.0      |                                                                                                    |
| タイバーツ円 | レンジ | 3.40～3.80  | 3.25～3.75 | 3.15～3.70 | 3.10～3.60 |                                                                                                    |
|        | 期末値 | 3.55       | 3.40      | 3.35      | 3.30      |                                                                                                    |

## ◎ 注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。



◎ 注意事項をよくお読み下さい



# りそな マーケットフラッシュマンスリー & アジア・新興国FXフラッシュ

(2022年8月号)

## ◆ マーケットカレンダー

|         | 日本                      | 米国                       | その他            |
|---------|-------------------------|--------------------------|----------------|
| 8/1(月)  |                         | 7月ISM製造業景況指数             | (中) 7月製造業PMI   |
| 8/2(火)  |                         |                          | (豪) 準備銀行理事会    |
| 8/3(水)  |                         | 6月製造業受注<br>7月ISM非製造業景況指数 |                |
| 8/4(木)  |                         | 6月貿易収支                   | (英) BOE金融政策委員会 |
| 8/5(金)  | 6月家計調査<br>6月毎月勤労統計 (速報) | 7月雇用統計                   |                |
| 8/6(土)  |                         |                          | (中) 7月貿易統計     |
| 8/8(月)  | 7月景気ウォッチャー調査            |                          |                |
| 8/9(火)  |                         | 3年債入札                    |                |
| 8/10(水) | 7月企業物価指数                | 10年債入札<br>7月CPI          | (中) 7月CPI      |
| 8/11(木) | (山の日)                   | 30年債入札<br>7月PPI          |                |
| 8/12(金) |                         |                          |                |

|         | 日本                  | 米国                              | その他                |
|---------|---------------------|---------------------------------|--------------------|
| 8/15(月) | 4-6月期GDP (一次速報値)    | 8月NY連銀製造業景況指数                   | (中) 7月生産・小売・投資     |
| 8/16(火) |                     | 7月住宅着工・許可件数                     | (独) 8月ZEW景況指数      |
| 8/17(水) | 6月機械受注<br>7月貿易統計    | 20年債入札<br>7月小売売上高<br>FOMC議事要旨   | (欧) 4-6月期GDP (速報値) |
| 8/18(木) |                     | 7月中古住宅販売<br>8月フィラデルフィア連銀製造業景況指数 |                    |
| 8/19(金) | 7月消費者物価指数           |                                 |                    |
| 8/22(月) |                     |                                 |                    |
| 8/23(火) |                     | 2年債入札<br>7月新築住宅販売               | (欧) 8月PMI (速報値)    |
| 8/24(水) |                     | 5年債入札                           |                    |
| 8/25(木) |                     | 4-6月期GDP (改定値)<br>7年債入札         | (独) 8月IFO企業景況感指数   |
| 8/26(金) |                     | 7月個人所得・消費支出                     |                    |
| 8/29(月) |                     |                                 |                    |
| 8/30(火) | 7月労働力調査             | 8月消費者信頼感指数                      |                    |
| 8/31(水) | 7月鉱工業生産<br>7月住宅着工件数 |                                 | (中) 8月PMI          |



◎ 注意事項  
当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。



◎注意事項をよくお読み下さい



# りそな マーケットフラッシュマンスリー & アジア・新興国FXフラッシュ

(2022年8月号)

## 中国の動向-主要トピックス①

りそな銀行上海駐在員事務所

【6/24～6/30】

### ◎工業のエネルギー効率向上へ中央が行動計画、消費1割減目標

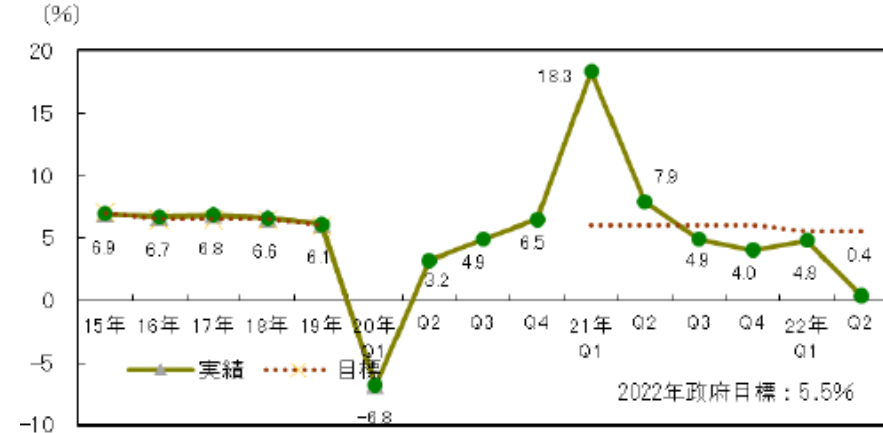
中国工業情報省（工情省）など中央6部門は29日、工業のエネルギー利用効率の向上に向けた行動計画を発表した。カーボンニュートラル（炭素中立）の実現を目指す動きの一環で、重点産業の設備更新や再生可能エネルギーの利用拡大、デジタル化・スマート化による利用効率向上などを図る。2025年には単位生産額当たりのエネルギー消費量を20年から1割以上減らす目標を盛り込んだ。

【7/1～7/7】

### ◎新興EV、コロナはねのける4社の上期納車、前年比2倍以上

中国の新興電気自動車（EV）メーカーが力強い成長を続けている。主要新興EVメーカー5社がこのほど発表した今年上半期（1～6月）の納車台数は、いずれも前年同期比でプラスを記録。うち4社は2倍以上の増加を遂げた。新型コロナウイルスの流行という強烈な逆風をはねのけた形で、中国のEV需要の底堅さが見て取れる。ガソリン車市場にも政府の振興策の効果が表れ始めており、自動車市況全体が今後好転する流れにある。

中国におけるGDP増加率の推移



月別CPIの推移(消費者物価指数)



◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

◎注意事項をよくお読み下さい



# りそな マーケットフラッシュマンスリー & アジア・新興国FXフラッシュ

(2022年8月号)

## 中国の動向-主要トピックス②

りそな銀行上海駐在員事務所

【7/8～7/14】

### ◎ 6月の中国輸出約18%増新型コロナウイルスの影響緩和、回復が進む

中国税関総署が13日発表した6月の貿易統計（ドル建て）によると、輸出は前年同月比17.9%増の3,312億ドル（約45兆円）だった。伸び率は前月（16.9%）から拡大した。6月の輸入も1.0%増の2,333億ドルのプラスを維持した。コロナ影響が緩和、特に上海市のロックダウンが6月1日に解除されたことを受け、企業の生産・営業再開が進んだ上、政府が相次いで打ち出した経済安定策も貿易の回復につながった。特にロックダウンの影響を強く受けた上海市を含む長江デルタ地域の貿易が急速に回復し、全体を押し上げた。

【7/15～7/21】

### ◎ 中国GDP、0.4%増20年第2四半期以来の低水準

中国国家統計局が15日発表した第2四半期（4～6月）国内総生産（GDP、速報値）は、物価変動の影響を除いた実質で前年同期比0.4%増だった。成長率は第1四半期（4.8%）を大きく下回り、新型コロナウイルスの感染拡大初期に初のマイナス成長となった20年第2四半期以降の最低だった。新型コロナウイルスの流行が中国経済に急ブレーキをかけた。

## 主要経済指標

&lt;月次データ&gt;

| 項目       | 単位     | 2021/8  | 2021/9  | 2021/10 | 2021/11 | 2021/12 | 2022/1  | 2022/2  | 2022/3  | 2022/4  | 2022/5  | 2022/6  |
|----------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 実質GDP成長率 | %      | -       | 4.9     | -       | -       | 4.0     | -       | -       | 4.8     | -       | -       | 0.4     |
| 消費者物価上昇率 | %      | 0.8     | 0.7     | 1.5     | 2.3     | 1.5     | 0.9     | 0.9     | 1.5     | 2.1     | 2.1     | 2.5     |
| 都市部調査失業率 | %      | 5.1     | 4.9     | 4.9     | 5.0     | 5.1     | 5.3     | 5.5     | 5.8     | 6.1     | 5.9     | 5.5     |
| 輸出額      | 10億ドル  | 293.9   | 305.3   | 299.6   | 324.8   | 340.2   | 327.1   | 217.4   | 275.6   | 273.3   | 307.7   | 331.3   |
| 輸入額      | 10億ドル  | 234.7   | 237.2   | 214.8   | 253.1   | 246.5   | 243.6   | 188.4   | 229.6   | 222.6   | 229.3   | 233.3   |
| 経常収支     | 100万ドル | -       | 198,934 | -       | -       | 317,301 | -       | -       | 88,875  | -       | -       | -       |
| 外貨準備高    | 10億ドル  | 3,232.1 | 3,200.6 | 3,217.6 | 3,222.4 | 3,250.2 | 3,221.6 | 3,213.8 | 3,188.0 | 3,119.7 | 3,127.8 | 3,071.3 |
| 主要政策金利   | %      | 4.35    | 4.35    | 4.35    | 4.35    | 4.35    | 4.35    | 4.35    | 4.35    | 4.35    | 4.35    | 4.35    |
| 対ドル為替レート | 人民元    | 6.48    | 6.46    | 6.41    | 6.39    | 6.37    | 6.36    | 6.34    | 6.35    | 6.44    | 6.71    | 6.70    |

※ 対ドル為替レート：期末又は月末値 主要政策金利：1年物貸出基準金利

出所：Bloomberg

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

# りそな マーケットフラッシュマンスリー & アジア・新興国FXフラッシュ

## (2022年8月号)

“上海下午茶”（上海からティータイム）

りそな銀行上海駐在員事務所

### ○コロナ禍での受験

ロックダウンの影響が残る上海では、1学期に対面授業が認められたのは、受験を控えている中学3年生と高校3年生のみです。

そのような中、ある中学校では学生の一人が運悪く感染したことにより、学年全員が濃厚接触者となりましたが、受験をしないわけにはいきません。

様々な検討がされた結果、、、炎天下の中、防護服を着て市の郊外へ移動し、1週間程度、試験まで泊まり込みで待機することになってしまいました。



### ○無料PCR検査、8月末まで継続

7月20日の上海発布で以下の発表がありました。

上海市は新型コロナの社会感染をゼロに抑えるため、無料のPCR検査が8月31日まで続きます。

上海市民は毎週少なくとも1回PCR検査を受けることを求められ、1週間以上検査記録がない場合、【随申码】が黄色になり、外出が制限されます。また、検査を受けずに感染を拡大させた場合、当局から責任を追及されます。

一方、連日最高気温40度前後の日が続き、PCR検査を担当する“大白”たちを苦しめています。暑い中、“大白”たちは氷で体を冷やしながら、検査を実施しています。

コロナが早く収まることを望みます。

◎注意事項をよくお読み下さい



# りそな マーケットフラッシュマンスリー & アジア・新興国FXフラッシュ

(2022年8月号)

## タイの景気動向

りそな銀行バンコック駐在員事務所

◆タイ中央銀行が発表した2022年5月の経済報告によれば、タイ経済は回復基調が続いている。新型コロナウイルス対策の規制緩和を受け、個人消費の増加や経済活動の活発化に伴い、企業の設備投資の改善が挙げられた。民間消費指数は前年同月比11.3%上昇。サービスや半耐久財消費財、耐久財消費財、非耐久消費財はいずれも上昇した。民間投資指数は同3.8%上昇した。機械・設備を中心とした資本財の輸入は増加したが、建設資材の販売は下落した。鉱工業生産指数は同2.1%減少した。海外から調達している部品や原材料の不足が影響したことを背景にある。注目すべきタイ経済のリスク要因として、コストや物価の上昇、製造業の部品不足、観光業の回復ペースを挙げた。

◆タイ商務省によると、2022年5月の輸出額は前年同月比10.5%増の255億909万米ドルと、15カ月連続で前年同月を上回った。農産物・加工品の輸出は前年同月比25.8%増、工業製品は同4.2%増加した。機械・同部品、鉄・鉄鋼製品、ゴム製品、プラスチックペレット等が伸びた。自動車、電気機器等は減少した。国別では、米国向けの輸出額と伸び率が

最大だった（前年同月比29.2%増）。他に日本（同6.2%増）、中国（同3.8%増）、東南アジア諸国連合（同10.4%増）はそれぞれ拡大したが、ロシア（同56.9%減）、香港（同22.4%減）、オーストラリア（同11.9%減）はそれぞれ落ち込んだ。5月の輸入額は同24.2%増の273億8,320万米ドルで、貿易収支は18億7,420万米ドルの赤字となった。2022年1～5月の輸出額は前年同期比12.9%増の1,226億3,180万米ドルだった。一方、5月の対米ドル・パーツ相場は平均で1米ドル＝34.38パーツで、前月の33.82パーツからパーツ安となった。

◆タイ商務省が発表した6月の一般消費者物価指数（CPI）は、前年同月比7.66%上昇した。上昇幅は前月の7.10%から加速した。ウクライナ情勢の緊迫化に伴うエネルギー価格の高騰やタイ政府による調理用液化石油ガス（LPG）価格と電気料金を引き上げを受け、食品が値上がりしたことが要因。食品・飲料が同6.42%、非食品が同8.49%とそれぞれ上昇した。今年1～6月CPI平均値は前年同期比5.61%上昇。

## 主要経済指標

| 項目       | 単位     | 2021/8 | 2021/9 | 2021/10 | 2021/11 | 2021/12 | 2022/1 | 2022/2 | 2022/3 | 2022/4 | 2022/5 | 2022/6 |
|----------|--------|--------|--------|---------|---------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 実質GDP成長率 | %      | -      | -0.2   | -       | -       | 1.8     | -      | -      | 2.2    | -      | -      | -      |
| 消費者物価上昇率 | %      | -0.0   | 1.7    | 2.4     | 2.7     | 2.2     | 3.2    | 5.3    | 5.7    | 4.7    | 7.1    | 7.7    |
| 失業率      | %      | 1.9    | 2.3    | 2.3     | 2.3     | 1.6     | 1.6    | 1.6    | 1.5    | 1.5    | 1.5    | -      |
| 輸出額      | 100万ドル | 21,975 | 23,109 | 22,776  | 23,723  | 25,419  | 21,259 | 23,483 | 28,860 | 23,521 | 25,509 | -      |
| 輸入額      | 100万ドル | 22,968 | 22,292 | 22,842  | 22,401  | 25,840  | 23,785 | 23,360 | 27,401 | 25,430 | 27,383 | -      |
| 経常収支     | 100万ドル | -2,731 | -812   | -478    | 380     | -1,562  | -2,541 | -568   | 920    | -3,057 | -3,716 | -      |
| 外貨準備高    | 10億ドル  | 252.0  | 244.7  | 246.1   | 243.0   | 246.0   | 242.8  | 245.1  | 242.4  | 228.6  | 230.0  | 222.3  |
| 主要政策金利   | %      | 0.50   | 0.50   | 0.50    | 0.50    | 0.50    | 0.50   | 0.50   | 0.50   | 0.50   | 0.50   | 0.50   |
| 対ドル為替レート | パーツ    | 33.1   | 33.1   | 33.5    | 33.1    | 33.6    | 33.2   | 32.7   | 33.3   | 33.8   | 34.4   | 35.0   |

※ 対ドル為替レート：期末又は月末値 主要政策金利：タイ翌日物レポ金利

出所：Bloomberg

### ◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。



◎注意事項をよくお読み下さい



# りそな マーケットフラッシュマンスリー & アジア・新興国FXフラッシュ

(2022年8月号)

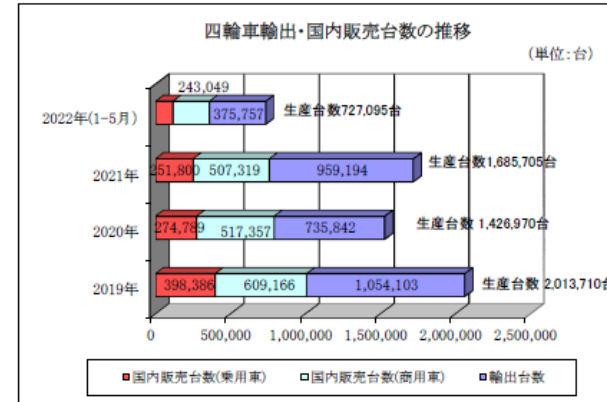
## タイにおける自動車産業の動向

りそな銀行バンコック駐在員事務所

### タイにおける自動車産業の動向

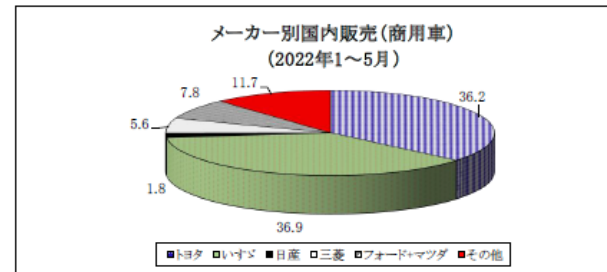
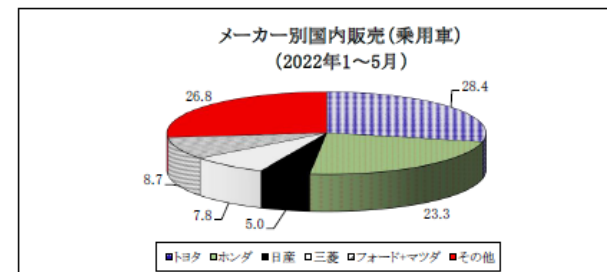
出所:タイ工業連盟(FTI)

|           |        | 2019年     | 2020年     | 2021年     | 2022年<br>(1-5月) | 前年同期比<br>(%) | 5月      |         |
|-----------|--------|-----------|-----------|-----------|-----------------|--------------|---------|---------|
| 【台数】      |        | (台)       |           |           |                 |              |         |         |
| 四輪        | 生産台数   | 乗用車       | 804,340   | 542,437   | 599,844         | 213,127      | 86.2    | 40,147  |
|           |        | 商用車       | 1,209,370 | 884,533   | 1,085,861       | 513,968      | 111.0   | 89,084  |
|           |        | 合計        | 2,013,710 | 1,426,970 | 1,685,705       | 727,095      | 102.4   | 129,231 |
|           | 国内販売台数 | 乗用車       | 398,386   | 274,789   | 251,800         | 116,302      | 118.9   | 20,084  |
|           |        | 商用車       | 609,166   | 517,357   | 507,319         | 243,049      | 115.5   | 44,651  |
|           |        | 合計        | 1,007,552 | 792,146   | 759,119         | 359,351      | 116.6   | 64,735  |
|           | 輸出台数   |           | 1,054,103 | 735,842   | 959,194         | 375,757      | 96.2    | 76,937  |
| 二輪        | 生産台数   | 1,948,480 | 1,615,319 | 1,780,654 | 777,915         | 93.6         | 157,940 |         |
|           | 国内販売台数 | 1,718,587 | 1,516,096 | 1,606,481 | 732,344         | 103.0        | 162,352 |         |
|           | 輸出台数   | 948,839   | 727,152   | 965,967   | 422,185         | 107.7        | 85,800  |         |
| 【完成車輸出金額】 |        | (百万バーツ)   |           |           |                 |              |         |         |
| 四輪        |        | 545,968   | 410,912   | 561,147   | 223,873         | 101.1        | 46,227  |         |
| 二輪        |        | 69,933    | 85,802    | 75,985    | 28,846          | 83.5         | 5,480   |         |



出所:トヨタ自動車

|     |     | 2019年     | シェア<br>(%) | 2020年   | シェア<br>(%) | 2021年   | シェア<br>(%) | 2022年<br>(1-5月) | 前年同期比<br>(%) | シェア<br>(%) | 5月     |
|-----|-----|-----------|------------|---------|------------|---------|------------|-----------------|--------------|------------|--------|
| トヨタ | 乗用車 | 117,708   | 29.5       | 68,152  | 24.8       | 62,403  | 24.8       | 33,010          | 135.9        | 28.4       | 5,773  |
|     | 商用車 | 214,672   | 35.2       | 176,164 | 34.1       | 177,320 | 35.0       | 87,996          | 124.7        | 36.2       | 16,408 |
|     | 合計  | 332,380   | 33.0       | 244,316 | 30.8       | 239,723 | 31.6       | 121,006         | 127.6        | 33.7       | 22,181 |
| いすゞ | 乗用車 | 0         | 0.0        | 0       | 0.0        | 0       | 0.0        | 0               | 0.0          | 0.0        | 0      |
|     | 商用車 | 168,215   | 27.6       | 181,194 | 35.0       | 184,160 | 36.3       | 89,743          | 113.5        | 36.9       | 15,728 |
|     | 合計  | 168,215   | 16.7       | 181,194 | 22.9       | 184,160 | 24.3       | 89,743          | 113.5        | 25.0       | 15,728 |
| ホンダ | 乗用車 | 96,154    | 24.1       | 77,419  | 28.2       | 76,886  | 30.5       | 27,056          | 89.7         | 23.3       | 3,191  |
|     | 商用車 | 29,679    | 4.9        | 15,622  | 3.0        | 11,806  | 2.3        | 8,710           | 167.1        | 3.6        | 1,844  |
|     | 合計  | 125,833   | 12.5       | 93,041  | 11.7       | 88,692  | 11.7       | 35,766          | 101.1        | 10.9       | 5,035  |
| 日産  | 乗用車 | 35,809    | 9.0        | 27,120  | 9.9        | 19,790  | 7.9        | 5,844           | 60.0         | 5.0        | 969    |
|     | 商用車 | 28,605    | 4.7        | 17,438  | 3.4        | 9,906   | 2.0        | 4,435           | 110.4        | 1.8        | 562    |
|     | 合計  | 64,414    | 6.4        | 44,558  | 5.6        | 29,696  | 3.9        | 10,279          | 74.7         | 2.9        | 1,531  |
| 三菱  | 乗用車 | 38,879    | 9.8        | 22,363  | 8.1        | 18,456  | 7.3        | 9,114           | 122.8        | 7.8        | 2,077  |
|     | 商用車 | 49,365    | 8.1        | 35,046  | 6.8        | 28,732  | 5.7        | 13,545          | 111.4        | 5.6        | 2,637  |
|     | 合計  | 88,244    | 8.8        | 57,409  | 7.2        | 47,188  | 6.2        | 22,659          | 115.7        | 6.3        | 4,714  |
| その他 | 乗用車 | 109,836   | 27.6       | 79,735  | 29.0       | 74,265  | 29.5       | 41,278          | 157.6        | 35.5       | 8,074  |
|     | 商用車 | 118,630   | 19.5       | 91,893  | 17.7       | 95,395  | 18.7       | 38,620          | 98.1         | 15.9       | 7,472  |
|     | 合計  | 228,466   | 22.7       | 171,628 | 21.8       | 169,660 | 22.3       | 79,898          | 121.8        | 22.1       | 15,546 |
| 合計  | 乗用車 | 398,386   | 100.0      | 274,789 | 100.0      | 251,800 | 100.0      | 116,302         | 118.9        | 100.0      | 20,084 |
|     | 商用車 | 609,166   | 100.0      | 517,357 | 100.0      | 507,319 | 100.0      | 243,049         | 115.5        | 100.0      | 44,651 |
|     | 合計  | 1,007,552 | 100.0      | 792,146 | 100.0      | 759,119 | 100.0      | 359,351         | 116.6        | 100.0      | 64,735 |



◎注意事項  
当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。